

# ■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立産業会館				
指定管理者名	公益財団法人 相模原市産業振興財団				
指定期間	令和元年度から令和5年度				
施設設置条例	相模原市立産業会館条例				
施設の設置目的	産業を振興し、及び市民の産業に対する理解を深める場を提供することにより、市内産業の健全な発展を図り、もって活気とにぎわいのある豊かな都市の創造に寄与すること(相模原市立産業会館条例第2条)				
施設概要	相模原市中央区中央3丁目12番1号 敷地面積 1,369.30㎡ 建築面積 1,038.20㎡ 延床面積 4,836.73㎡ 1階 多目的ホール 2階 展示室 3階 大研修室、小研修室 4階 特別会議室(国際商談室)、懇談室(中研修室) 地下1階 OA研修室、多目的室				
施設所管課	産業支援課				

## 2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	83,111	30,508	51,051		
利用料金合計(円)	18,406,126	12,052,942	15,313,461		

## 3 成果指標の達成度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価(5評価)	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>C</b>				<b>8.3</b>

### 指標1

指標名(単位)	産業会館施設利用率						
指標式と指標の説明	利用率=利用日(区分)数/利用可能日(区分)数 1日3区分(午前・午後・夜間)で数値は区分で算出 ※施設休止期間は含まない						

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	43.5%	44.0%	44.5%		
実績値(人)	42.3%	40.1%	38.5%		
達成度(%)	97.2%	91.1%	86.5%		

## 4 事業の実施状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価(5評価)	<b>A</b>	<b>S</b>	<b>S</b>				<b>18</b>

**市が指定する事業**

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

**企画提案事業**

主な事業名	内容等	効果等
リモート会議の補助機器提供による会館利用促進事業	令和2年12月からリモート会議に対応したスピーカー・マイク・プロジェクター等の提供	これらの機器の導入やホールの映像のデジタル化、通信環境の整備、各機器の接続のノウハウ等トータルな内容で通信関係が充実しているという評価を受けている
来館者へ向けたモニターでの情報提供事業(検討)	R4.4月から館内モニターを利用した情報提供(デジタルサイネージ)の準備(コンテンツの拾い出し、機器購入等)を実施した ※令和3年12月から準備開始	開館時間中モニターを通してトライアル事業等相模原市、財団等の市内経済情報を中心に、産業会館等の情報も提供した。講座申込、案内等タイムリーな情報が提供できた

**自主事業**

主な事業名	内容等	効果等
OA研修室活用事業(無料PC教室)	・小学校でのプログラミング教育の実施を踏まえ、プログラミング的思考への一助となることを目的に、幼児から小中学生を中心として幅広い年齢層に対応した講座を用意した。「①プログラミング体験教室(年中～小学2年)」、「②プログラミング教室(小学3年～中学)」、「③パソコン体験教室」を実施した。	令和元年度は323名、令和2年度は102名、令和3年度は161名の参加があった。
イベント・コンベンション等産業事業振興利用促進事業	・企業等のイベント・コンベンション利用等の促進のため全館利用のパッケージ料金を設定し、HP、チラシに掲載し、継続して利用促進を図った。	新型コロナ禍での影響を受けて令和3年度からは徐々に利用件数が増えてきている状況となっている。
市民文化活動推進事業	・幼稚園等の演芸会、音楽・舞踏の発表会など音を出す利用区分として、多目的ホールと2階及び3階を同時に利用した場合のパッケージ料金を設定し、利用者サービスの向上や利用の促進を図った。	新型コロナ禍での影響を受けて令和3年度からは徐々に利用件数が増えてきている状況となっている。
トライアル発注認定製品展示事業	・相模原市トライアル発注認定製品の紹介として、1階ロビーの壁面に紹介シートを掲示、カタログをラックに配架して周知を図るなど、認定製品の販路の開拓及び拡大を支援している。また、モニターによる周知を企画し、令和4年度からの実施に向け、準備を進めた。	1階ホール入口に設置したモニターでのトライアル事業の認定製品の動画の放映(市から提供)とカタログやチラシを近接するラックに配架したことにより、令和3年度のカタログはすべてはけるなど一定の周知効果があった。
財団事業の会館活用事業	・産業振興財団が主催する「コミュニティビジネス推進事業」、「事業承継セミナー」、「SOHO支援事業」を実施することで、利用機会の提供と産業支援・振興の情報、学習機会の提供を進めた。	新型コロナ禍での講座等の中止やリモート開催等での負の影響はあったが、講習会などについては事業実施の会場として利用するだけにとどまらず、モニターでの講座の募集案内や財団事業の紹介などの情報提供により会館、財団にとって効果があった。
自動販売機活用事業	・館内に設置する自動販売機の売上による手数料収入を得た。	自主事業(産業会館まつり、ロボットプログラミング教室)財源の一部となった。
産業会館利用促進事業	・会館の周知、利用促進を図ることを目的に、パンフレット等の会館情報や利用者掲示板を一体化するなど情報コーナーの拡充を行った。	産業会館の認知度アップのため既存パンフレットに加え、新規利用者に分かりやすいパンフレットを作成して、産業会館まつりのプログラミングコンテスト(134名参加)、親子プログラミング教室(97名)で配布するなど会館利用の周知に努めた。

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>13</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>				

### 利用者満足度調査

調査手法	利用者に対し「お客さまアンケート」を実施
目標値の基準	「お客さまアンケート」の満足度等経年比較を行う項目の内施設全体的な満足度を問う設問(7項目)について、肯定的評価数を総サンプル数－無回答等で除した値(%)で算出

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	—	98.0%	98.5%		
実績値（%）	97.5%	98.7%	98.4%		
達成度（%）	—	100.7%	99.9%		

### 利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
ご意見箱	受付窓口に「お客さまの声」を記入する用紙と投函ボックスを設け、いつでも意見要望を受け付け、必要な対策を講じる体制を採っている。令和4年3月から全室に設置
パソコン教室アンケート	無料PC教室では参加者アンケートを実施し、参加者の属性、受講目的等の項目を設け、利用者ニーズ、要望等を吸上げ、満足度の向上に活用している。

### 利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
使用する机をもう少し軽量のをそろえて欲しい(ホール・展示室利用)	令和4年度にホール・展示室の机を軽量なものに更新(ホール用予備機は令和2年度に更新済)。
半年後予約の毎月一日の先着順受付のために早朝から並ばないようにしてほしい。	過去2年分の受付の重複状況及び規則等を考慮したうえ、受付開始時間前は先着順でなく、利用希望が重複した場合はくじ引きとするよう運用を変更して、早朝から並ばずに済むよう対応した。
感染防止のため、女性用のトイレの出入口が開放されているとトイレの女性用サインが見えにくい。	ご案内が不足する部分であり、開放した場合でも判るようサインを追加した。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>20</b>
	<b>S</b>	<b>S</b>	<b>S</b>				

### 施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	86,685	93,619	91,348		
指定管理料	67,374	68,507	67,481		
利用料金収入	18,406	12,053	15,313		
その他の収入	905	13,059	8,554		
支出 (b)	84,307	83,428	85,730		
人件費	18,838	18,578	19,848		
本社管理経費	0	0	0		
その他の支出	65,469	64,850	65,882		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	2,378	10,191	5,618		
自主事業収入 (d)	512	240	328		
自主事業支出 (e)	220	117	208		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	292	123	120		
全体収支 【(c)+(f)】	2,670	10,314	5,738		
備考	利用料金は新型コロナに伴う緊急事態宣言中の施設休館等の制限があったことから令和2年3月以降減少している。				

## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

## 8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
相模原市や他の産業支援機関等と連携した事業	相模原市の産業の振興に向けて新たな事業を起こすとともに、既存事業を発展させ、相模原市や他の産業支援機関等と連携して事業を行います。	神奈川産業振興センターや相模原商工会議所など県・市の産業支援機関には会館施設を利用してもらっているが、今後は、利用の際の事業内容等の紹介や共催などの連携も検討していきたい。

## 9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
施設・備品の快適化	緊急的な修繕でなく、老朽化等で快適に利用できなくなっている床及び備品などを更新した。	ホール等のタイルカーペット床の交換及び軽量備品(机等)への更新により、清潔感の向上や利用者の机移動の負担軽減など施設利用における快適化を図った。

## 10 指定管理者の自己評価

新型コロナ禍での感染予防等の対策を行いつつ、イベントでの周知案内を新たに実施するなど会館の利用促進に努めてきた。また、お客さまアンケートでは継続して、全体的な満足度について、9割以上から良い評価を得るなど、通常業務でも確実、的確な対応が取れていると考えている。令和4年度はコロナによる休館が無く、社会活動の再開、活発化などにより、利用者、収入が回復傾向となっている。今後とも施設修繕や備品更新を進め、積極的な周知を行い、満足度や利用率の向上を図りたい。

## 11 所管課意見

指定当初は想定していなかった新型コロナウイルス感染症拡大により大きく影響を受ける中、管理業務や各種事業を適正・積極的に進めることにより、低下傾向ではあるが施設の利用率を40%前後で維持できたことは高く評価できる。

引き続き業務・事業を実施していただくとともに、施設のPRなど積極的な取り組みを進めることにより、利用率の低下傾向が続いている要因として考えられる休館や時間短縮による利用離れからの回復や新規の利用者の増加を図っていただきたい。

## 12 選考委員会意見

- ・施設利用率が低く出ているため、成果指標の達成度が低く出ているが、コロナ禍で、会館の開業期間が制限される中、よく努力されたものと思う。施設の経営状況も良好である。  
コロナ対策として、Web会議用の機器や、手指消毒器や換気用ファンの設置など、積極的な対策をとられていることも評価できる。また、来館者へのモニターでの情報提供は、今後を見据えた取り組みであり、タイムリーな情報提供や紙の無駄を削減することにも貢献している。自主事業としてのトライアル発注認定製品展示事業、産業振興財団の事業連携など、市内の産業振興に資する事業も評価できる。また、利用者の意見に対して、軽量の備品への変更や予約重複の解消方法の改善など行われている。
- 一方、新規の利用者の開拓が必要であり、外国人受け入れセミナーや国際化セミナーなどもこの会館での実施が一案であろう。また、民間企業の利用が少なく、民間企業の定期的利用などを促進することが望まれる。また、ホームページについて、改善されているが、公的施設であることを考えても、視覚等障害者への配慮は必須であり、考慮されたい。具体的には、ウェブアクセシビリティについて、文字の大きさを可変に、ダウンロードファイルの種類とサイズの記載、画像に代替テキストなどの点である。
- ・コロナ禍にあって、安定的に経営されていることは素晴らしいと思います。一方、当財団が指定管理者となっていることへの期待として、産業支援機関等との連携がありますので、是非、積極的な実施をしていただきたい。
- ・平成31年度から令和3年度の期間として、まさにコロナ禍の中での事業となり、産業会館運営だけでなく社会全体が混沌とした期間でした。しかしながら、産業会館事業等運営され努力されている姿勢が伺えます。今後も、ウィズコロナ・アフターコロナの中で、利用者の声を聴きながら利用者が安心して施設を利用できる運営をお願いします。

### 総合評価（自動判定）

